KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立バキューム
アタッチメント

PBAV-4600

⚠ 警　告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

2002/02

はじめに

ご挨拶

・共立バキュームアタッチメントをお買い上げいただき、ありがとうございます。

用途

・この機械は、軽量・小型に製造されたパワーブロワー用アタッチメントです。

・このパワーブロワー用アタッチメントは、色々なゴミや落ち葉を吸込むために使用するものであり、目的以外には使用しないでください。

・機械を改造しないでください。

・整備不良の機械や、改造した機械は危険ですので使用しないでください。

取扱説明書について

・この取扱説明書には、組立や操作に必要な事項が書かれていますので正しく効果的な製品の取扱いができるよう、よく読んで理解してください。
説明をわかりやすくするため、使用しているイラストは現品と異なる場合があります。

・単位はＳＩ単位（国際単位系）を使用しています。
（　）内は参考値ですので数%の換算誤差がある場合もあります。

続く↑

・この取扱説明書は、いつでも読めるように必ず保管してください。
この取扱説明書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。

貸与、譲渡

・この取扱説明書で解説している機械を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに機械を貸与してください。
製品を譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。

おことわり

・本書に記載されている解説あるいは説明のために例にあげられている図や内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。

・本製品は共立パワーブロワー・ＰＢ４６０に組付けて使用します。本体の取扱いは、本体の取扱説明書を参照してください．

・ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

目　　次

はじめに 2
警告表示マークの意味 2
各部の名称 3
　各部の名称とその機能 3
組立 4
　アタッチメント部品一覧 4
　部品の組付 4
正しい作業のために 6
　作業者の体調 6
　保護具 7
操作方法 8
吸込み不良の原因と対策 9
保管 9
　長期保管（６０日間以上） 9

警告表示マークの意味

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注　意

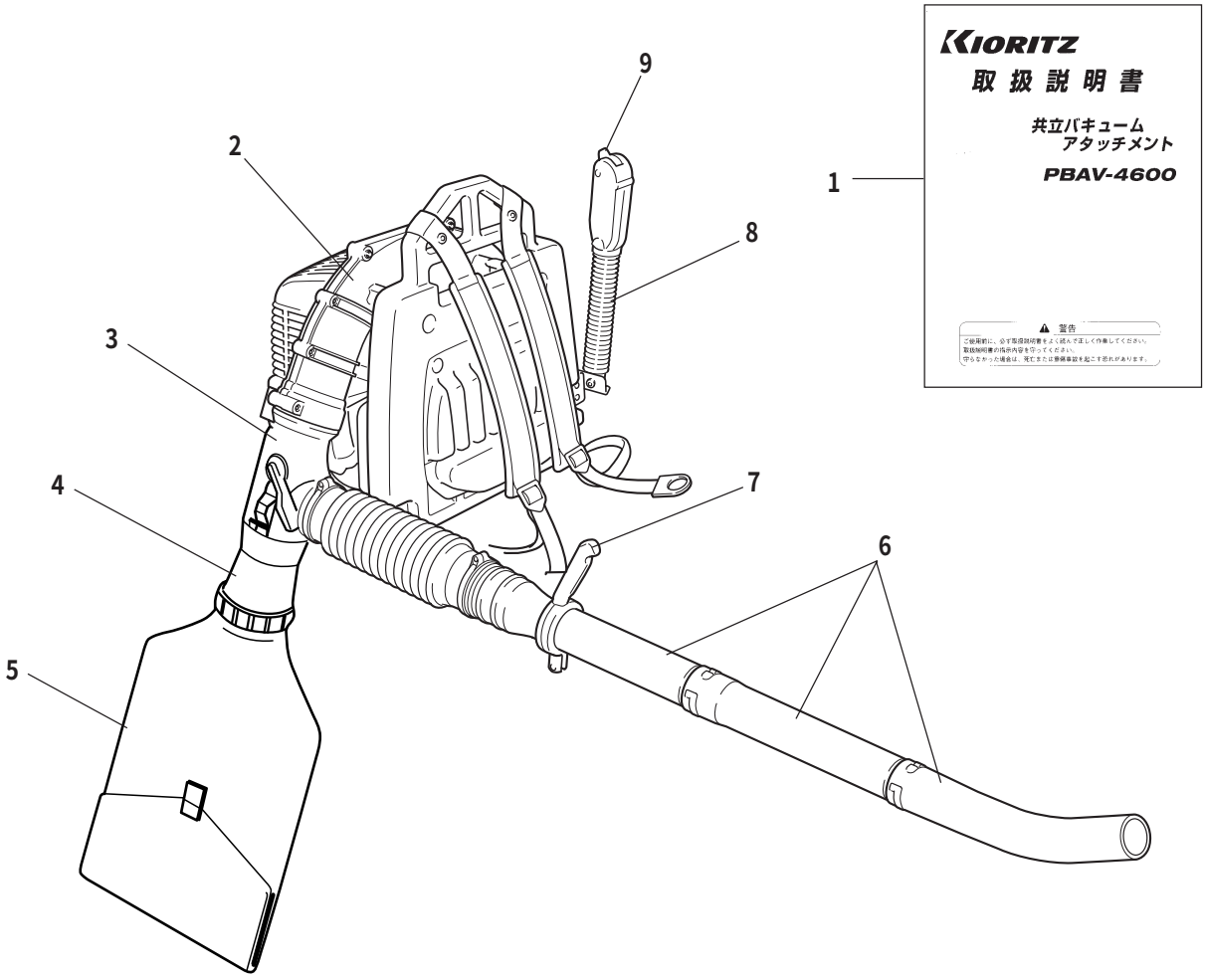
その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する重要な注意事項です。

各 部 の 名 称



各部の名称とその機能

１．　取扱説明書　　――アタッチメントに付属しています。機械を使用する前に必ず読んでください。また正しい操作方法を再確認する場合に備え、すぐ取出せる場所に、必ず保管してください。

２．　パワーブロワー　　――アタッチメントを取付ける本体（ＰＢ４６０）です。

３．　吸込み管　　――吸込みと吐出しを切替える管です。

４．　継手　　――本体にアタッチメントを取付けるための継手です。

５．　集塵袋　　――落ち葉や雑草などを吸込む袋です。

６．　噴管　　――吸込み管の切替えにより、吸込みや吐出し作業をするための噴管です。

７．　アーム　　――噴管の方向を操作します。

８．　スロットル
コントロールアーム　　――スロットルレバーを操作しやすい角度に調節できます。

９．　スロットルレバー　　――本体（ＰＢ４６０）のエンジン回転数を調節するとともに、エンジンを停止させるときのレバーです。

組　　立

・機械を改造しないでください。
・整備不良の機械や、改造した機械は危険ですので使用しないでください。

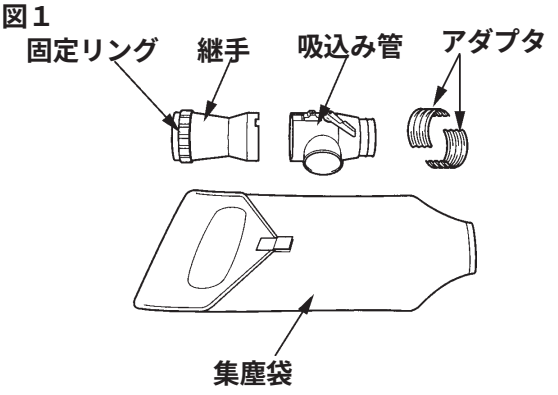
⚠ 警　告

ブロワー本体ＰＢ４６０のエンジン回転中に、アタッチメントの組立、修理はしないでください。

重要

・このアタッチメントは共立パワーブロワー・ＰＢ４６０に組付けて使用します。
・吸込み管に継手がしっかり組付けらてれいるか集塵袋を引っ張って確かめてください。
・本機を下に降ろすときは、継手と集塵袋を外してください。

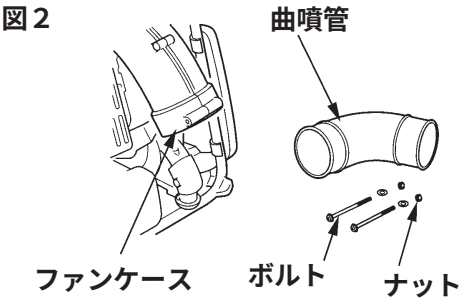
図１



アタッチメント部品一覧

● このアタッチメントの構成部品は、アダプタ・吸込み管・継手・集塵袋・固定リングの５点です。(図１参照)

図２



部品の組付

１．パワーブロワー本体のファンケースに付いている曲噴管を、２本のボルトをゆるめて外してください。

２．アダプタを付けた吸込み管をファンケースの吐出口に充分奥までしっかり差込んでください。

３．曲噴管を組付けていたボルトとナットで、ファンケースの吐出口に差込んでいる吸込み管を、しっかり締付けてください。

４．たわみ噴管と直噴管を吸込み管に組付け、バンドで固定してください。

５．必要なときは曲噴管も使用してください。

６．継手に集塵袋組付け、固定リングで確実に締付けてください。

図３

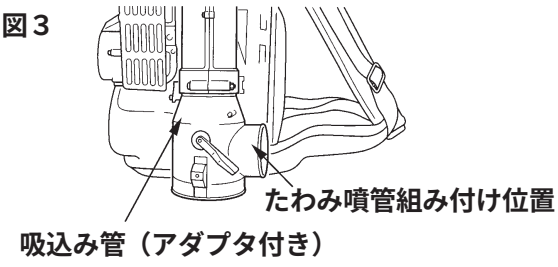


図４

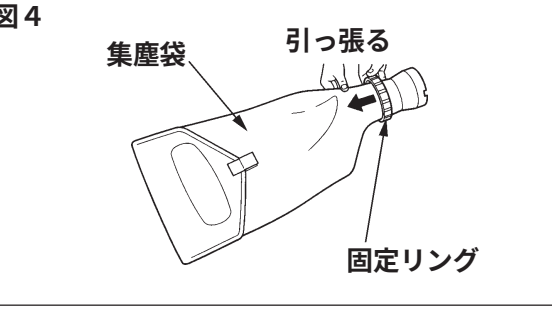
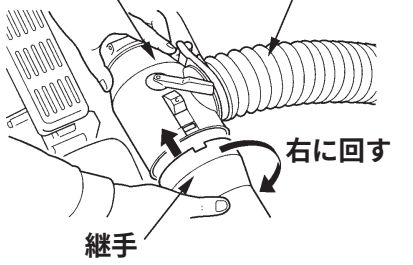
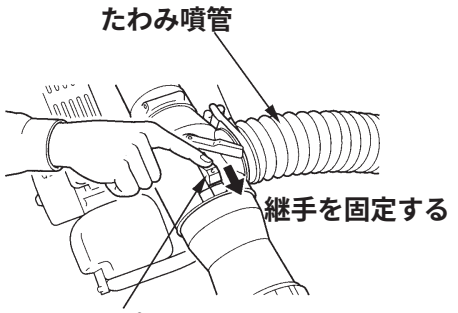


図１



７．吸込み管に継手を充分差込み、右（時計方向）に回してください。

図２



８．ストッパを下方に押し、吸込み管に継手を固定（ロック）してください。

正しい作業のために

⚠ 注　意

- 機械を操作する人は心身ともに健康でなければなりません。
  子供には使わせないでください。
- 夜間や天候不良などの視界の悪いときは作業をしないようにしてください。

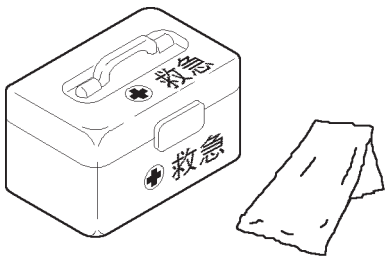
図1



図2



図3



救急箱　　タオル、てぬぐい

作業者の体調

- 疲れているときは、機械を使用しないでください。もし、機械の使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
- 酒を飲んでいる人、薬物の影響がある人は、機械を操作しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響をおよぼします。
- 身体を冷やさないようにしてください。
  特に手首や手指は保温に心掛けてください。

振動と冷え

機械を操作する人の体質によっては、指にレイノー症候群と呼ばれる症状が現われることがあります。これは振動と冷えにさらされることにより起こるとされており、指にチクチクとした痛みや、火傷のようなヒリヒリした痛みを感じ、さらには指先が白くなり感覚がなくなります。症状の現われる限度が未解明であるため、特に末梢部は温かく保ってください。

反復作業による傷害

指や手、腕、肩の筋肉やすじを使いすぎると、その箇所にズキズキする痛みや腫れ、マヒ、衰弱、激痛が起こるとされています。手で、一定の反復する動きを長く続けると、反復作業による傷害の危険性が高くなります。定期的に休息をとってください。

ケガへの備え

- 万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。
  出血をともなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや、てぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業現場へ携帯することをおすすめします。
- 応急手当については、地域の消防署や消防組織（消防団など）で知識、技能の普及につとめていますので、それらの講習、訓練を受け、基本的な知識を習得されることをおすすめします。

図１

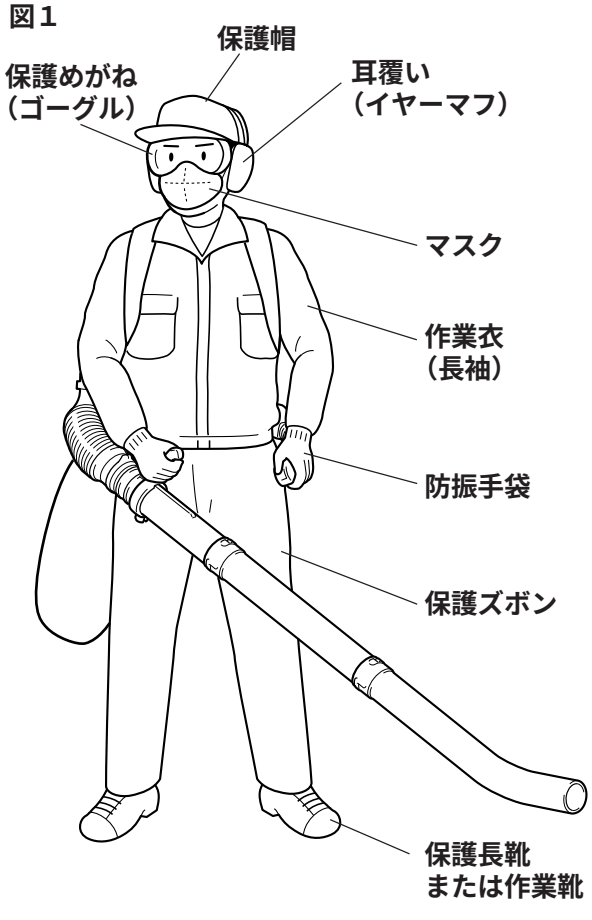


図２

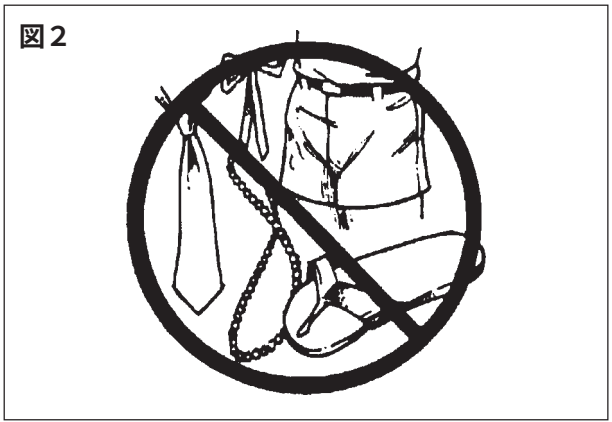
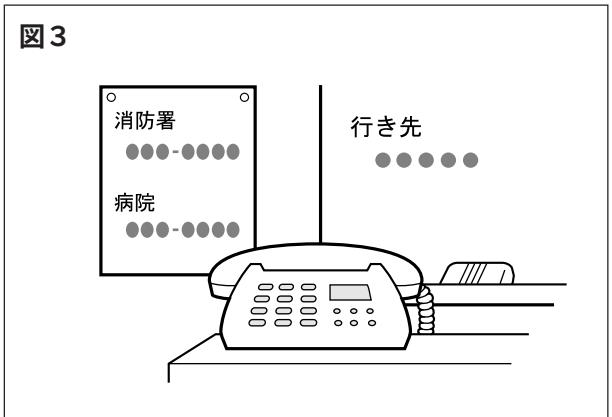


図３



保護具

身体を保護する衣服

身体に合った作業衣（長袖）を着用してください。衣服はボタン、ファスナを完全にし、作業衣のすそはズボンに入れること。袖じまりを良くしてください。フリルや飾りヒモは機械や雑草に絡まる原因になります。ネクタイ、だぶついた服、宝石類は着用しないこと。髪の毛は肩より上でまとめること。
（図１、図２）

頭部の保護

作業帽を使用し頭部を保護してください。

目の保護

目の保護に保護めがね（ゴーグル）を着用してください。日常、めがねを使用している人は、そのめがねの上から保護めがね（ゴーグル）などの目を保護するものを付けてください。

耳の保護

長時間大きな音を聞いていると聴覚が弱くなったり、聞こえなくなったりする原因となります。
耳覆い（イヤーマフ）や耳栓などの聴覚を保護するものを着用して騒音から耳を保護してください。

手の保護

防振手袋を着用してください。柔らかい革のものは、握りをより確実なものにできます。

脚全体の保護

底に滑り止めのあるゴム長靴などをはいてください。つま先のあいた靴、サンダルやはだしで作業しないでください。

身体の保護のためのその他の事項

- 防塵マスクを着用し、粉塵を吸わないようにしてください。
- 保護用の衣類は汗をかき、疲労を増します。
  気温が高いときは作業を中止し気温が下がってから作業をしてください。
- 万一の事故に備え、電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。
  特に消防署への連絡の場合、救急車のための目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。
- 単独で作業する場合、どこで作業を行っているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。負傷し動けなくなり帰れなくなった場合の対処として有効です。
- 作業現場には、呼子（笛）を携帯してください。

操　作　方　法

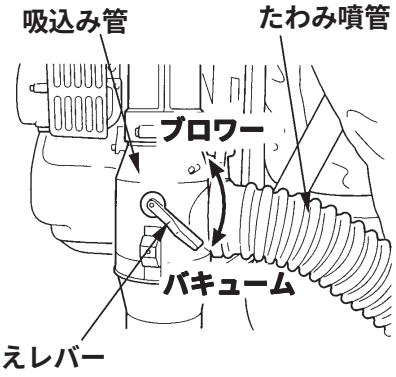
⚠ 警　告

- 人や動物がいる方向に噴管を向けないでください。
- 保護めがねとフェースシールドは常に着用してください。

重要

- 集塵袋を正しく取付けないでバキュームアタッチメントの運転操作をしないでください。
- 屋外の炉やバーベキューに使用したピットから灰をバキュームアタッチメントで吸取らないでください。
- 喫煙中のタバコをバキュームアタッチメントで吸取らないでください。
- このバキュームアタッチメントは、葉・小さな紙切れ・小枝・雑草・刈草のような物を吸込むために設計した物です。目的以外のものには使用しないでください。
- 釘・ガラスなど鋭い物をバキュームアタッチメントで吸取らないでください。アタッチメントを破損します。
- 無理に吸い込み管に物を押し込まないでください。

図１



- 切替えレバーを、“ バキューム ”の位置に回せば作業を開始できます。
- ブロワー作業に戻るときは、切替えレバーを“ ブロワー ”の位置に回せば作業を開始できます。

図２



- 集塵袋をカラにするとき、本機を下に降ろす必要はありません。フックを外すとすぐに完全にカラになります。

吸込み不良の原因と対策

⚠ 警　告

- 集塵袋が汚れているため吸込みが悪くなるとパワーブロワー本体のエンジンが高速回転となり、スパークプラグを損傷したり激しい振動を起こしたりして、大変危険です。
  すぐにエンジンを停止して集塵袋を掃除してください。
  また、集塵袋を掃除しても振動が修まらないときは、ただちにエンジンを停止して故障原因を調べ完全に修理が終わるまで機械を使用しないでください。
- 交換・清掃・調整してもトラブルが解消しないときは､お買い求めの販売店へご相談ください。

⚠ 注　意

吸込み管が詰まったり、バキュームアタッチメントやパワーブロワーを掃除するときは、最初にエンジンのスイッチを切りスパークプラグキャップを外してから作業してください。

不良内容	原因	対策
●吸込みが急に悪くなった。	●吸込み管にゴミが詰まっている。	●切替えレバーを少しの間“ ブロワー ”側に回し、吸込み管に詰まっているゴミを吐出させる。
●吸込みが徐々に悪くなった。	●集塵袋が汚れている。	●集塵袋のゴミをブラシなどで落とすか、水洗いをし、集塵袋をきれいにする。
	●集塵袋にゴミが詰まっている。	●集塵袋のフックを外して、集塵袋をカラにする。

保　　管

⚠ 警　告

燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のある場所に保管しないでください。

重要

この取扱説明書は､いつでも読めるよう保管してください。

長期保管（６０日間以上）

バキュームアタッチメントを長期間（60 日間以上）にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

1. バキュームアタッチメントを乾かし、子供の手の届かないホコリのない場所に保管してください。
2. バキュームアタッチメントの外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
3. パワーブロワー本体（ＰＢ４６０）の保管については、本体の取扱説明書をよく読んで、その指示に従ってください。

株式会社 共立

東京都青梅市末広町1-7-2　〒198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東1-2-20　〒004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東5-1-50　〒984-0002　☎022-288-0511(代)

両毛共立エコー株式会社
宇都宮市御幸本町4736-7　〒321-0983　☎028-661-0431(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県西春日井郡西枇杷島町宮前町1-39　〒452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田566-159　〒701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原5-3-7　〒816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町1-7-2　〒198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

898 512-0936 0
X750 112-470 0